

## 議 事 録

<input type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開	部 分 非公開 理 由 個人情報にかかると部分				
				保存期間	30 ( ) ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和4年5月16日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係 職・氏名 主査 土屋 素樹 印
会議等の名称	令和4年度 第1回まちづくり審議会			開催日時	令和4年5月16日（月） 午後 6時30分～ 午後 8時00分
				場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課			司会者	井上企画振興部長
出席者	浅川達也、阿部貴代枝、市川努、小山岳史、重原君江、篠原博文、下村征子、羽田司、花岡裕子、馬場正人、丸山順子、宮原則子 井上企画振興部長、中村企画振興部長、大塚企画政策係長、上条主査、土屋				
欠席者	富岡克彦、馬場直樹、若林泰平				
議 題	(役員の選任) (配布資料) (説明事項) 別紙会議資料のとおり (1) まちづくり審議会の役割について (2) 市総合計画について (3) 次期総合計画策定スケジュール (4) 市総合戦略の見直しについて (5) 市シティプロモーション戦略の見直しについて (審議事項) 令和3年度東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI実績について				
決定事項	(1) 委員の互選により、会長に馬場正人委員、会長の指名により職務代理者に花岡裕子委員が決定				
次回への検討事項					
次回開催	(日時) 令和4年9月			(場所)	

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会		
2 委員の委嘱		(委員の委嘱)
3 市長あいさつ	花岡市長	「令和3年度東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI実績について」口頭で諮問
6 説明事項 (1) まちづくり審議会の役割について ※順番を前後させ説明	大塚係長	( (1) まちづくり審議会の役割について説明【資料1】 )
		(質疑なし)
5 役員の選任		委員の互選により、会長に馬場正人委員、会長の指名により職務代理者に花岡裕子委員が決定
6 説明事項	大塚係長	( (2) 市総合戦略について説明【別冊：第2次総合計画・後期基本計画】 )
	委員	市民意識調査について、年齢ごと回答が異なってくる。調査の対象が16歳以上だと高校生も含まれ、大学進学等で市外へ出ていく可能性が高い。一方で年配の方だと戻ってきた方。「住みよい」「ずっと住みたい」というところに影響が出てくると思う。そういったところは分析されているのでしょうか。
	大塚係長	年齢等も回答の中でわかる。例えば若者の調査結果をUターン事業、年配者の方の調査結果を福祉の事業などそれぞれの施策の中で活かしていきたい。 また、市役所だけでなくコンサルも入れ地域づくりの政策に結び付けていきたい。
	委員	アンケートの有効回収率をみると3割にも満たない。 基本計画などの策定の際、無作為にアンケート調査を実施していると思うが、いつもこの程度の回答率なのでしょうか。
	中村課長	最近の傾向を申し上げますと「紙」でお願いし郵送での回答を求めると回答率は低い。 市では、紙での調査も行っているが、最近ではLINEなどを活用し、オンラインでのアンケートを始めているがこちらの回答率は比較的高い。 次期総合戦略策定の際行うアンケートではオンラインも取り入れていきたいと考えている。
	大塚係長	( (3) 次期総合計画策定スケジュールについて説明【資料2】 )
	委員	アンケート実施に関して前回のアンケートと同様、16歳以上を対象と考えているのか。 出来れば対象範囲を中学生以上に広げた方が良いのではと思っています。中学生、高校生を対象とするならば、学校にお願いをすれば比較的アンケートも集まりやすいと思う。 大学進学等で県外（大都市）に出てしまうことは仕方がない。小学生、中学生の時から地域への愛着を育てるにはどうしたら良いかという研究をしている。県外に出てしまう前の子どもたちが何を考えているかデータを取ることが出来ればと思います。いかがでしょうか。
	大塚係長	前向きに調整させていただきたいと考えております。
	委員	総合型地域スポーツクラブを設立をする段階で小学生、中学生にアンケートを学校に協力いただき実施した経過がある。その際は、生の声が聞け非常に参考になった。ぜひ、中学生、高校生が何を考えているか積極的にアンケートや情報収集を行っていただきたい。
	大塚係長	併せて参考とさせていただきます。
大塚係長	( (4) 市総合戦略の見直しについて【別冊：東御市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略】及び(5)市シティプロモーション戦略の見直しについて【別冊：東御市シティプロモーション戦略】一括説明)	
委員	東御市で行う計画の中に、様々な計画があり、観光振興など地域資源の掘り起こしなど行っているが、その情報がインターネット等で出てこない。情報をPRすることも1つのテーマとして掘り下げていけないといけないと思う。 例えば、市役所のHPを開けば全ての情報がわかるといったようなページ（サイト）があれば良いと思う。  もう一つ、ご当地検定のようなことが出来ればいいなと思う。 良い成績をとるため、郷土について勉強するため郷土愛が育つのではないかな。	

	中村課長	情報について、市のHPでは個々（特定の事業者など）の情報はなかなか発信できない。市観光協会であれば観光協会の情報を出していくことは出来ると思うので、そこを強化していかなければいけないと思う。 2つ目についてシビックプライドの醸成ということで検討してまいりたいと思う。
	委員	ロゴマークを活用した様々な施策を実施し、たしかにロゴマークを目にする機会は多くなってきていると思うが、それに伴う内容が付いて来ていないのではないかと感じる。市民に対しロゴマークがどんな意味をもっているのかの醸成が出来ていない。シビックプライドに繋がっているのかを理解する必要がある。単にグッズを作ったからどうこうではなく、市民が参加してシティプロモーションに繋がる考えを取り入れたり、市が考えているシティプロモーションを知れる機会があった方が良くはないかと思う。
	中村課長	ロゴマークを決める際、小学生、中学生をはじめ市民に選んでいただいたが、1年ほどであれば自分たちが選んだことを覚えているが、作って終わりだと選んだ事実さえ忘れてしまう。選んだロゴマークがどういうもの、どういう意味だったのか繰り返し伝えていかないと愛着も湧いてくれない。（まちづくり審議会）委員の皆さまとも相談をしながら醸成出来るような仕掛けを考えていきたい。
	委員	戦略のKPIの数値はどのように決めているのか教えていただきたい。見直しをする際、当初どのような前提だったのか分析をするときに大事。  また、参考までの意見ですが、ロゴマークを名刺に印刷し、（名刺交換などの際）渡すようになったが、市民の方でもロゴマークを知らないという方が意外と多いことに驚いた。また、東京など都市部においてワイナリーは知っているが東御市とリンクしている方が少ないというアンケート結果があることを別の会議で聞いた。この辺りをうまく結びつけると知名度向上につながるのではないかと思う。
	中村課長	次回、KPI数値の決め方も含めお示しできる範囲でお示ししたい
	委員	SDG s に関して東御市では、一生懸命やっていたいただいております。その中で、（本日配布いただいた）東御市シティプロモーション戦略の5ページと東御市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略の3ページにSDG s の記載がありますが、若干整合性が取れていないという気がする。他の市町村でも同じようにSDG s の取り組みをしているので参考にさせていただきながら、東御市として17の目標のどれを重点的に取り組んでいくのか見直す機会があれば見直ししていただきたい。
	大塚係長	SDG s につきましても今回の見直しの中で検討していきたいと思います。
7 審議事項	上条主査	（令和3年度東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI実績について説明【資料3】）
		（質疑なし）
8 その他	大塚係長	次回は9月を予定している
9 閉会		